

令和元年度 第2回 医療安全監査結果報告

1. 実施日時

2020（令和2）年1月30日 13：30～15：25

2. 出席委員

委員長 遠山 信幸（自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長）〔医療に係る安全管理に関する識見を有する者〕

委員 秋山 一弘（秋法律事務所 弁護士）〔法律に関する識見を有する者〕

委員 浜田 健一郎（一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長、前 株式会社 ANA 総合研究所 シニアフェロー）〔医療を受ける者その他の医療従事者以外の者〕

委員 本庄 八郎（株式会社伊藤園 代表取締役会長）〔医療を受ける者その他の医療従事者以外の者〕

3. 監査内容

(1) 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について

- 1) 組織、会議体について
- 2) 患者との情報共有・コミュニケーションの促進
- 3) 院内医療安全教育の実施について
- 4) 個別事案について

(2) 現在の医療安全管理状況について

(3) その他（病院でのアピール点、取り組みなど）

4. 監査結果・監査委員からの講評

- (1) インフォームドコンセントについては、引き続き、患者の立場になり、分かりやすい文書・言葉で記載し、有害事象の発生率、死亡率等の数値を示したものを作成して頂きたい。
- (2) インシデント・アクシデント報告については、診療の一環としてとらえ、報告文化の醸成に努めて頂きたい。レベル0を含めて報告件数の増加、特に研修医・医師からの報告件数の増加に向けて具体的な実効性のある方策を実行して頂きたい。
- (3) 患者満足度向上に向けては、引き続き改善に努めて頂きたい。特に医療安全面での評価を筆頭に、患者および職員の不満足を捉えて、改善のための取り組みを実行して頂きたい。
- (4) 様々な取り組みを通じてより良い体制が出来つつあるので、病院全体に対する教育をさらに徹底して頂きたい。
- (5) 品質向上を図る際には、コストも考えながら取り組む必要がある。外注業務の増加に伴うリスクもあり、非医療者を含めた病院全体での医療安全の向上、品質の向上という視点を取り入れて頂きたい。

-以上-